

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌【#2-】Zolbetuximab+XELOX療法
疾患名	胃癌
診療科名	消化器内科
登録医師名	住井 遼平
適応	HER2(-)、CLDN18.2(+)進行再発胃癌

臨床区分

<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類

<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2024年7月3日
1クール期間	21日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	day14	-	-	-	
1	カベシタピン錠300mg		錠	経口			●	→	→	→	→	→	休				備考欄参照
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液 ポララミン注5mg パロノセトロン静注0.75mg デキサメタゾン注射液 6.6mg アロカリス点滴静注235mg	100 2 1.5 1 1	mL 管 管 管 管	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	制吐剤終了後メインルートフラッシュ必要
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	-	●										ピロイ投与前、ルートフラッシュ用
5	生理食塩液 注射用水 ピロイ点滴静注用100mg	適宜 適宜 600	mL mL mg/m2	点滴静注	側管	適宜	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※投与量は体表面積の小數点第一位までで計算し、第二位以下は切り下げること ※ピロイ1Vあたり5mLの注射用水で溶解し、希釈後濃度は2mg/mLとなるよう医師・薬剤師で注射用水・生食量を調整すること ※他剤との混合は不可 ※投与開始前まで冷所で保管し、使用前に室温に戻すこと。また投与開始後12時間以内に投与を完了すること ※投与速度に関しては指示簿参照
6	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管	-	●										ピロイ投与後、ルートフラッシュ用
7	5%糖液 オキサリプラチン点滴静注液	250 130	mL mg/m2	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	カベシタピンが処方されているか確認すること。
8																	

備考欄
CLDN18.2が陽性であることを確認すること。ピロイ用の指示簿が入力されていることを確認すること。
制吐剤として投与前日からのオランザピン5mgの併用を考慮すること（糖尿病に禁忌）。
day2以降のデキサメタゾン8mgは別途処方必要。状況に応じてアルプラゾラムの併用可。
ピロイが3時間以内に投与終了出来る症例は外来へ移行も考慮可能。
カベシタピン 2×(14)MA 内服処方
1.36m2未満 1200mg/回、1.36m2以上1.66m2未満 1500mg/回、
1.66m2以上1.96m2未満 1800mg/回 1.96m2以上 2100mg/回

文献
Zolbetuximab plus CAPOX in CLDN18.2-positive gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma : The randomized, phase 3 GLOW trial

減量・中止基準
[]

sheet4にピロイ調製用一覧表あります